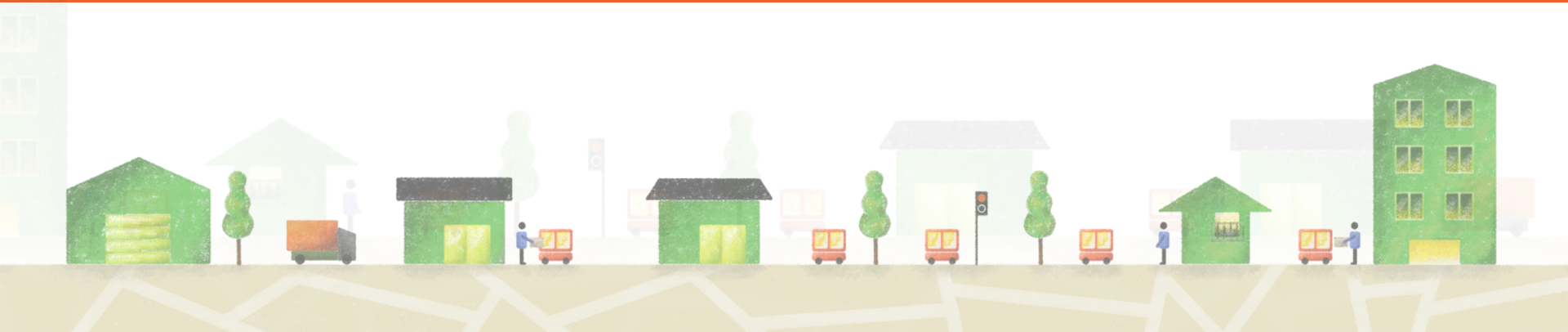




資料 4

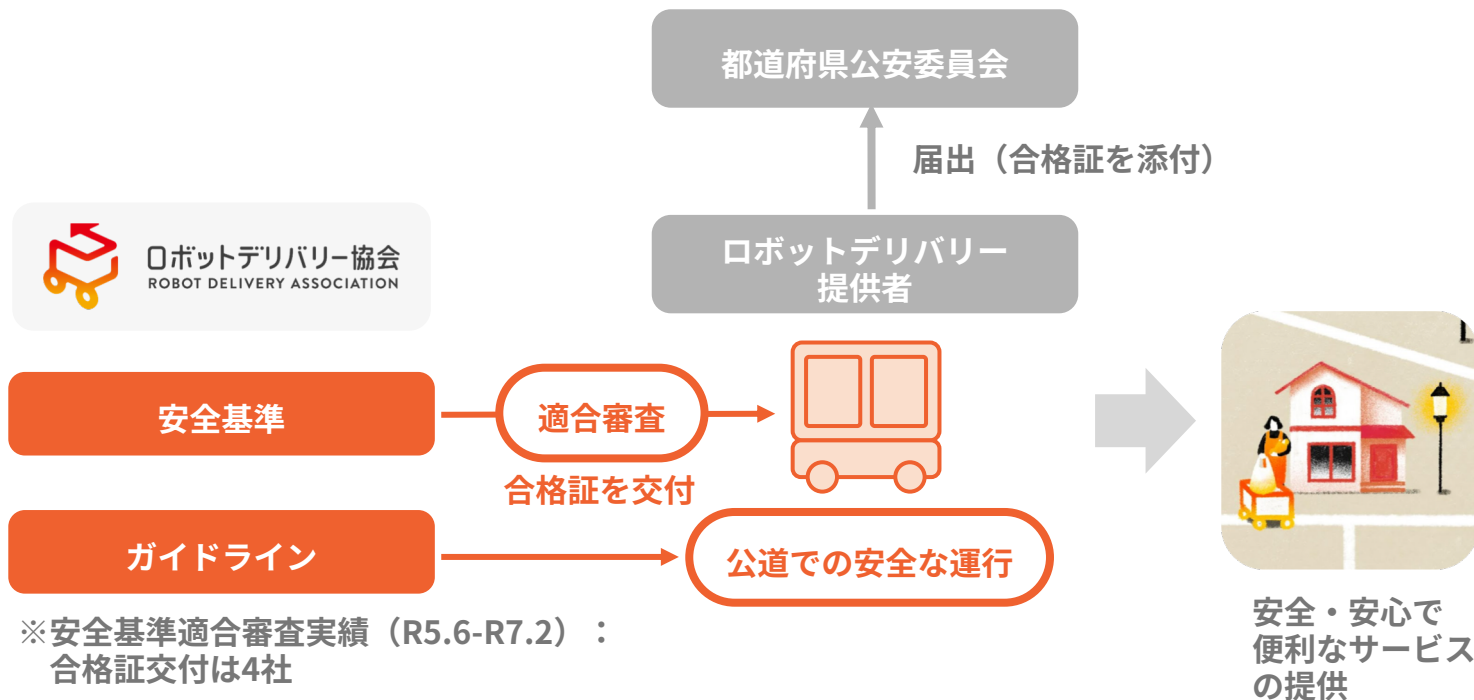
一般社団法人ロボットデリバリー協会 活動報告



遠隔操作型小型車の審査



ロボットデリバリー協会において安全基準適合審査を受け、交付された合格証を添付した上で都道府県公安委員会に届出を行うスキームとなっている。



IECにおける国際標準開発への参画



IECにおいて、2022年から自動配送ロボットの安全基準開発を継続。
2025年1月からCDVステージに入り、発行までの見通しが立った。



International
Electrotechnical
Commission

TC125 / WG6

General requirements for autonomous
cargo e-transporters

- 日本からの提案規格（IEC 63281-2-2 ED1: E-Transporters – Part 2-2: Safety requirements and test methods for autonomous cargo e-Transporters）を議論する場として、WG6の新設が決まり、2022年11月以降活動を継続（WG6のConvenorは、産総研の中坊嘉宏氏）。
- 2024年10月には、大阪でTC125の総会を開催。
- 2025年1月からCDVステージに入り、順調にいけば2025年中に発行に至る見通し。

※ロボットデリバリー協会は、IEC/TC125の国内審議団体としてJISCから指定を受けている



引き続き低速小型ロボットの普及に取り組みながら、業界全体の盛り上げに貢献していきたい。

低速小型ロボットの普及に向けて

- 遠隔操作型小型車の審査に着実に対応
- 運用上の課題を踏まえた安全基準・ガイドラインの見直し
- 遠隔操作型小型車の運用台数増加など、低速小型ロボットの可能性追求、安全基準改定の検討

業界全体の盛り上げに向けて

- 自動配送ロボットに対する世間の認知度向上のため、講演などの周知活動に協力
- 自動配送ロボット業界に参画するプレーヤーを勧誘し、エコシステムの形成に貢献
- より配送能力の高い自動配送ロボットに関する議論に参画